

地域のボランティアスクール  
横浜みどりの学校ひまわり

ふ れ あ い

2020年2月号 No.40

こんな学校があってもいいかも

(既存の教育にとらわれない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、日々実践しています。

## 我流教育(現役の思い出)

学校長 渡辺正彦

毎年建国記念の日が迫るとあの日のあの場面が明確に甦る。

43年前のよく晴れた冬の日の薄暮、教師になって3年目の私は職員室の石炭ストーブを背に、当時導入が囁かれていた主任制度反対のポスターの製作をしていたその時、隣の校長室から突然憲兵出身の校長が出てきて、「渡辺先生、あなたの組の子供が交通事故だよ。危ないようだよ」とまるで他人事のような言い方で伝えてきた。

駆けつけた病院は悲惨であった。まず目に入ったのは、廊下の片隅で涙する若い巡査の姿。次に耳に入って来たのは、我が子を前に名前を呼び続ける母の姿、「I君、起きて、起きて、早く起きて」と。そして廊下からは、何かにとりつかれたように「しどいよなあ、しどいよなあ酸素をしてくれないんだもの」と我が子の突然の死を受け入れられず繰り返しながら廊下を往復する父親の姿。教師3年目の私には余りに過酷であり、学生時代に抱いていた教師への夢を一喝するような出来事でした。足の不自由な母親に代わり家の手伝いをして、朝は早くから火の気の無い部屋で勉強に励む彼は、畳屋の倅。I君の生涯はこのようにして、10年という余りに短すぎる人生の幕を閉じた。家の前で交通事故により119番を我が子とは知らずに通報した母親の願いも叶わず。

その日の帰り私は、あんなに真面目なI君をよりによって怒ってしまったのだ。

1年が経過した日光修学旅行の弁当の時にカツカレーの載るテーブルの横にI君の写真が置かれていた。驚いた私が訊ねると、親友のA君が旅行中、胸にしたためていたそうである。修学旅行最後に駅前食堂での昼食を共にしようと、胸からとり出したものだった。

43年が経過した現在もクラスメート達は担任の私を誘い墓参りを欠かさない。銀座の有名寿司店の総料理長のF君は、毎年手作りの大学芋を墓前に捧げる。今年も53になった昔の子供達のI君への思いは変わらない。数年前の墓参の折りの女の子(以前の)達の会話が今も耳に残る。「この間バスに乗ったら偶然、A君が運転手だったの、A君大人になっても小学生の時のように優しく、とても丁寧な運転なの、後から乗って来た小さな坊やが、ママこの運転手さんととても優しいね、とお母さんに言っていたので、私は隣でとても嬉しかった。A君と同じクラスだったことを誇りに思うわ」。

知的障害のNちゃんはクラスのアイドルそして人気者だった。53才になった子供達からの告白。「実は修学旅行でNちゃんがおねしょをして、布団を濡らしてしまった時に、部屋の皆が相談をした結果、先生に言うとNちゃんが叱られて可哀想なので、濡れた布団を皆で丸めて押入れの下に隠したんだ」とのこと。40年も昔の出来事の告白に、老いた教師は、笑って焼酎を一緒に飲むより他にな

かった。

勉強を教えるのが上手な教師だったかと問われればそれはノー。教育委員会推薦の教師だったかと問われれば、それはノン。そんな教師に教わっても子供は育つ。教育とは、なんなのだろう。完全無欠な教師はなんていないはず。家族に迷惑をかけながらひまわりで偉そうなことを言っている自分が時には惨めにさえ思えることもあるが、それしかできないのも事実。

教育とは、「個性を認めどれだけ子供達を信じられるか」なのかも知れない。それは子育ても同じ。今日もなりふり構わず子どもたちに向かう私は72才。

---

## どんと焼き

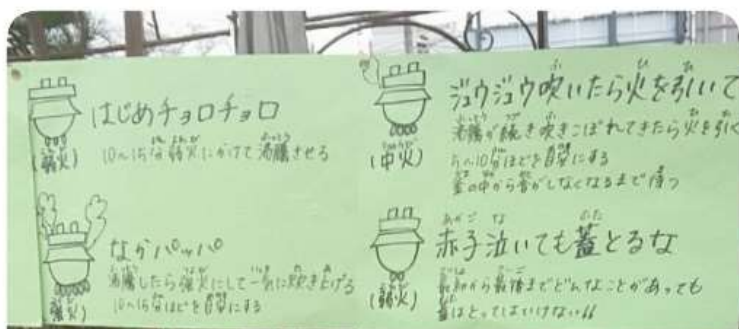
1月11日さつきが丘小学校ボランティアの会「郷土史の会」主催のどんと焼きに後援として参加しました。普段からご支援してくださっている多くの方々もご来場くださいました。来場者は、350名以上と聞いています。

地域とつながり、大きな行事をともに作っていくことは、とても貴重な体験となっています。



## 食育イベント開催

フードバンクかながわの契約が成立し、月1回食材の提供を受けられることになりました。この食材を活用し、1/17、1/27にイベントを開催しました。今後も定期的にひまわりで食育イベントを開催して参ります。



### 1/17 おむすび作り

阪神大震災を契機に制定された「おむすびの日」にちなんでイベントを行いました。

お米を研ぐ、羽釜で炊くことを子供たちに任せ、子どもたちがそれぞれに好みの具材でおむすびを作りました。



## 1/27 カレー作り

子どもたちは自主性を発揮し、羽釜でご飯を焦がすことなく炊き上げることができました。

### 【ボランティア募集】

(月)～(土)の9時半～16時に、学習指導や子ども達との触れ合いをしてくださるボランティアを募集しております。短時間でも大歓迎です。

すべて無報酬のボランティアです。臨床心理士も募集中です。